

## 令和元年度第10回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 令和2年3月24日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院本館5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介  
理 事 森 一樹，黒田 啓史，半場 江利子，松本 重雄，位高 光司，  
能見 伸八郎，山本 みどり，白須 正  
監 事 長谷川 佐喜男，中島 俊則  
事務局 折戸経営企画局次長，長谷川事務局管理担当部長，濱口経営企画課長，  
北川京北病院事務長

### 1 開会

### 2 議事・報告等

#### (1) 令和2年度年度計画（案）及び予算（案）について

資料1に基づき，折戸経営企画局次長から説明  
議案のとおり承認された。

- 逆紹介率の数値目標は妥当なのか。  
→ 妥当である。当初目標を達成しつつある。
- 市立病院が急性期リハビリテーションを実施することで，患者の満足度や質を担保できる。  
ぜひ見える化をして，リハビリテーションの充実を図っていただきたい。  
→ 当院では，脳卒中等で早期からリハビリ職員が介入をしている。  
→ 入退院支援ナースが直接施設へ赴いて連携もしている。
- 医薬品や診療材料のコスト削減に向けてSPCはどのような取組をしているのか。  
→ 在庫管理や，価格交渉，共同購入を連携して行っている。
- 病院運営が厳しい中，SPCの委託料についても検討する必要がある。
- 新型コロナウイルスの影響はあるのか。  
→ 現時点では，大きな影響は出ていないが，マイナスであることに間違いはない。先を見据え  
ると京都もどうなるか分からない。当院としては，感染症指定医療機関として積極的に受入れ  
を行っていく。
- 年度計画においても，赤字予算となっている。令和2年度に対策を行い，令和3年度以降黒  
字化を図る必要がある。  
→ 承知している。令和2年度においては，元年度に整備した患者支援センターや緩和ケア病棟  
を活用する等して収益を伸ばしていく。

#### (2) 短期借入金年度末借換の申請について

資料2に基づき，折戸経営企画局次長から説明  
議案のとおり承認された。

#### (3) 月次収支（1月まで）報告

資料3に基づき，折戸経営企画局次長から説明

#### (4) 収入状況月次（2月分）

資料4に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 京北病院についていつ頃体制を整えるのか。2月の稼働率や収入がとりわけ悪い。
- 現在、検討している。

(5) **職員給与規程の改正について**

資料5に基づき、折戸経営企画局次長から説明  
議案のとおり承認された。

(6) **外国人患者の診療単価見直しについて**

資料6に基づき、長谷川事務局管理担当部長から説明  
議案のとおり承認された。

**3 その他**

特になし

**4 閉会**